

注3

大学番号：私303

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

尚絅大学 現代文化学部 文化コミュニケーション学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人尚絅学園
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名 キョウムン 教務課長補佐 サ 菊川 サトシ 智志

電話番号 096-338-8840

（夜間） 同上

F A X 096-338-9301

e-mail kyomun@shokei-gakuen.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

現代文化学部

＜文化コミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	18
5. 教員組織の状況	20
6. 留意事項等に対する履行状況等	32
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人尚絅学園

(2) 大 学 名

尚絅大学

(3) 大学の位置

〒861-8538

熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1

(〒862-8678)

(熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6番78号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(イケミツ フカシ) 池満 淵 (平成24年10月)		
学 長	(モリ マサト) 森 正人 (平成27年4月)		
学 部 長	(ハヤシダ シュンイチロウ) 林田 俊一郎 (平成28年11月)		
学科長等	(ハヤシダ シュンイチロウ) 林田 俊一郎 (平成28年11月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合（平成30年度までの4年間）ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代文化学部 文化コミュニケーション学科 学士（文学）	文学関係	4年	75人	年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員							75人	—人	0.53倍	
							(—)			
							[—]			
志願者数							61人	—人		
							(—)	(—)		
							[—]	[—]		
受験者数							61人	—人		
							(—)	(—)		
							[—]	[—]		
合格者数							61人	—人		
							(—)	(—)		
							[—]	[—]		
B 入学者数							40人	—人		
							(—)	(—)		
							[—]	[—]		
入学定員超過率 B/A							0.53			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、編入学の状況について **外数** で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について **内数** で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出** してください。なお、計算の際は **小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入** してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、**計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。**

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		平成31年度		平成32年度		平成33年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	40 [-]	- [-]							
2 年次									
3 年次									
4 年次									
計	40 [-] (-)								

(注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
- ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

2 授業科目の概要

<現代文化学部文化コミュニケーション学科>

(1) - ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
初 年 次 教 育	スタディスキ ル	1前	1					1			
	基礎セミナー	1前	1			5	1	1			
日 本 語 運 用 能 力 養 成	日本語表現 Ⅰ	1前	2						1		
	日本語表現 Ⅱ	1後	2						1		
	クリティカル・ リーディング	1後	2			3	2	1			
	クリティカル・ シンキング	2前	2			1					
文 化 理 解	日本伝統文 化Ⅰ	1後	2								兼2
	日本伝統文 化Ⅱ	2前		2							兼2
	国際日本学	1前		2		1					
	読書と豊かな 人間性	4前		2		1					
社 会 理 解	経済と社会Ⅰ	1前	2			1					
	経済と社会Ⅱ	2前		2							兼1
	経済と社会Ⅲ	3前		2							兼1
	政治と社会	1前	2				1				
	法と社会	1後		2			1				
	メディアリテラ シー	1前		2			1				
	日本国憲法	2前		2			1				
	民法入門	2前		2			1				
	女性と社会	2前	2			1					
	アドミニスト レーション	2後		2							兼1

【平成30年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
初 年 次 教 育	スタディスキ ル	1前	1						1	1	
	基礎セミナー	1前	1			5	1	1			
日 本 語 運 用 能 力 養 成	日本語表現 Ⅰ	1前	2				1				
	日本語表現 Ⅱ	1後	2				1				
	クリティカル・ リーディング	1後	2			1	3	2	1		
	クリティカル・ シンキング	2前	2			1					
文 化 理 解	日本伝統文 化Ⅰ	1後	2								兼任2
	日本伝統文 化Ⅱ	2前		2							兼任2
	国際日本学	1前		2		1					
	読書と豊かな 人間性	4前		2							兼任1
社 会 理 解	経済と社会Ⅰ	1前	2			1					
	経済と社会Ⅱ	2前		2							兼任1
	経済と社会Ⅲ	3前		2							兼任1
	政治と社会	1前	2				1				
	法と社会	1後		2			1				
	メディアリテラ シー	1前		2			1				
	日本国憲法	2前		2			1				
	民法入門	2前		2			1				
	女性と社会	2前	2				1				
	アドミニスト レーション	2後		2							兼任1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	門 人権論	3後		2			1				
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							兼1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							兼1
	文学・ 歴史	日本文学史Ⅰ	1前	2		1					
		日本文学史Ⅱ	1後	2		1					
		東アジア近現代史	1前	2		1					
		日本近現代史	2前	2							兼1
	心理・ 教育	生涯学習概論	1前	2		1					
		図書館概論	1前	2							兼1
		生涯発達心理学	2前	2		1					
		児童サービス論	2後	2		1					
		教育心理学	3前	2		1					
		特別支援教育概論	3後	2							兼1
	調査分析基礎	基礎数学Ⅰ	1前	2			1				
		基礎数学Ⅱ	1後	2			1				
		情報処理Ⅰ	1前	1			1				
		情報処理Ⅱ	1後	1			1				
		課題探求プロジェクト入門	1後	2					1		
		社会調査法	1前	2			1				
		基礎統計Ⅰ	2前	2			1				
		基礎統計Ⅱ	2後	2			1				
		情報サービス論	2前	2							兼1
		質的調査法	2前	2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	門 人権論	3後		2			1				
	簿記・会計Ⅰ	3前		2							兼任1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2							兼任1
	文学・ 歴史	日本文学史Ⅰ	1前	2		1					
		日本文学史Ⅱ	1後	2					1		
		東アジア近現代史	1前	2			1				
		日本近現代史	2前	2							兼任1
	心理・ 教育	生涯学習概論	1前	2							兼任1
		図書館概論	1前	2		1					
		生涯発達心理学	2前	2							兼任1
		児童サービス論	2後	2							兼任1
		教育心理学	3前	2		1					兼任1
		特別支援教育概論	3後	2							兼任1
	調査分析基礎	基礎数学Ⅰ	1前	2			1				
		基礎数学Ⅱ	1後	2			1				
		情報処理Ⅰ	1前	1			1				
		情報処理Ⅱ	1後	1			1				
		課題探求プロジェクト入門	1後	2			1		1		
		社会調査法	1前	2			1				
		基礎統計Ⅰ	2前	2			1				
		基礎統計Ⅱ	2後	2			1				
		情報サービス論	2前	2		1					
		質的調査法	2前	2					1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	応用統計	3後		2			1				
多文化コミュニケーション	Communicative Grammar I	1前	1			1	1	1			
	Communicative Grammar II	1後	1			1	1	1			
	Communicative Grammar III	2前	1			1	1	1			
	Communication Workshop I	1前	1			1	1	1			
	Communication Workshop II	1後	1			1	1	1			
	Communication Workshop III	2前	1			1	1	1			
	初級中国語 I	1前		1			2				
	初級中国語 II	1前		1			2				
	初級中国語 III	1後		1			2				
	初級中国語 IV	1後		1			2				
	中国語コミュニケーション I	2前		1			1				兼1
	中国語コミュニケーション II	2前		1			1				兼1
	初級韓国語 I	1前		1		1					兼1
	初級韓国語 II	1前		1		1					兼1
	初級韓国語 III	1後		1		1					兼1
	初級韓国語 IV	1後		1		1					兼1
	韓国語コミュニケーション I	2前		1		1					兼1
	韓国語コミュニケーション II	2前		1							兼2
	海外語学研修 (中国語)	1後		1			1				
	海外語学研修 (韓国語)	1後		1		1					
	日本語学概論	1後		2			1				
	音声言語	2前		2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	応用統計	3後		2			1				
多文化コミュニケーション	Communicative Grammar I	1前	1			1	1	1			
	Communicative Grammar II	1後	1			1	1	1			
	Communicative Grammar III	2前	1			1	1	1			
	Communication Workshop I	1前	1			1	1	1			
	Communication Workshop II	1後	1			1	1	1			
	Communication Workshop III	2前	1			1	1	1			
	初級中国語 I	1前		1			2				
	初級中国語 II	1前		1			2				兼任1
	初級中国語 III	1後		1			2				
	初級中国語 IV	1後		1			2				兼任1
	中国語コミュニケーション I	2前		1			1				兼任1
	中国語コミュニケーション II	2前		1			1				兼任1
	初級韓国語 I	1前		1		1					兼任1
	初級韓国語 II	1前		1		1					兼任1
	初級韓国語 III	1後		1		1					兼任1
	初級韓国語 IV	1後		1		1					兼任1
	韓国語コミュニケーション I	2前		1		1					兼任1
	韓国語コミュニケーション II	2前		1							兼任2
	海外語学研修 (中国語)	1後		1			1				
	海外語学研修 (韓国語)	1後		1		1					
	日本語学概論	1後		2			1				
	音声言語	2前		2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	日本語教育	日本語史	4前	2		1					
		心理言語学	2前	2			1				
		日本語教育文法	3前	2			1				
		日本語教授法	3後	2			1				
		ことばと社会	4前	2		1					
		日本語教育実習	4前	2			1				
	体育	体育Ⅰ	1前	1							兼1
		体育Ⅱ	1後	1							兼1
	キャリア形成	キャリア形成入門	1後						1		
		キャリアデザインⅠ	2前	1					1		
		キャリアデザインⅡ	2後	1					1		
		インターンシップ	3前		1	1					
	専門導入科目	社会コミュニケーション論入門	1後		2	1					
		言語表現文化論入門	1後		2	1					
		情報メディア表現文化論入門	1後		2	1					
		観光文化学入門	1後		2			1			
		アジア事情	2前		2	1	1				
		文学研究概論	2前		2	1					
		メディア表現論	2前		2		1				
		観光文化論	2前		2			1			
		社会学概論	2後		2		1				
		マーケティング論	2後		2		1				
		プレゼンテーション概論	2後		2		1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	日本語教育	日本語史	4前	2		1					
		心理言語学	2前	2			1				
		日本語教育文法	3前	2			1				
		日本語教授法	3後	2			1				
		ことばと社会	4前	2		1					
		日本語教育実習	4前	2			1				
	体育	体育Ⅰ	1前	1							兼任1
		体育Ⅱ	1後	1							兼任1
	キャリア形成	キャリア形成入門	1後								兼任1
		キャリアデザインⅠ	2前	1					1		
		キャリアデザインⅡ	2後	1					1		
		インターンシップ	3前		1	1					
	専門導入科目	社会コミュニケーション論入門	1後		2	1					
		言語表現文化論入門	1後		2	1					
		情報メディア表現文化論入門	1後		2	1					
		観光文化学入門	1後		2			1			
		アジア事情	2前		2	1	1				
		文学研究概論	2前		2	1					
		メディア表現論	2前		2		1				
		観光文化論	2前		2			1			
		社会学概論	2後		2		1				
		マーケティング論	2後		2		1				
		プレゼンテーション概論	2後		2			1			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通実践科目	プレゼンテーション演習	3前		2		1					
	社会コミュニケーション実践論	2前		2		1					
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2			3	2	1	1		
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2		3	2	1	1		
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後		2		1					
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1					
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1				
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2			1				
	検定中国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1				
	検定中国語Ⅲ	3後		2			1				
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			2				
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1				
	中国語通訳・翻訳演習	3後		2							兼1
実践外国語科目	検定韓国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定韓国語Ⅱ	3前		2			1				
	検定韓国語Ⅲ	3後		2			1				
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							兼1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							兼1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2							兼1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2			1	1	1		
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2			1	1	1		
	TOEIC PreparationⅠ	2後		2			1				
	TOEIC PreparationⅡ	3前		2			1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
共通実践科目	プレゼンテーション演習	3前		2							
	社会コミュニケーション実践論	2前		2		1					
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2				2	1	1		
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後		2			2	1	1		
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後		2		1					
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後		2		1					
	社会調査法実習Ⅰ	4前		2			1				
	社会調査法実習Ⅱ	4後		2						1	
実践外国語科目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1				
	検定中国語Ⅲ	3後		2			1				
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			2				
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1				
	中国語通訳・翻訳演習	3後		2							兼任1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2			1				
	検定韓国語Ⅱ	3前		2			1				
	検定韓国語Ⅲ	3後		2			1				
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2							兼任1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2							兼任1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2							兼任1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2			1	1	1		
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2			1	1	1		
	TOEIC PreparationⅠ	2後		2			1				
	TOEIC PreparationⅡ	3前		2			1				

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目													
	文 芸 文 化	名跡鑑賞	2後		2		1						兼1
		表現ワーク ショップⅠ	2後		2								
		表現ワーク ショップⅡ	3前		2								
		声の文化論演 習Ⅰ	2後		2		1						
		声の文化論演 習Ⅱ	3前		2		1						
		表現文化概論	2後		2					1			
		中国古典文化 概論	2後		2			1					
		書写・書道Ⅰ	3前		1		1						
		書写・書道Ⅱ	3後		1		1						
		アジア書記史 Ⅰ	3後		2		1						
		アジア書記史 Ⅱ	4前		2		1						
		日本伝統文化 史講義Ⅰ	3前		2		1						
		日本伝統文化 史講義Ⅱ	3後		2		1						
		文芸文化論講 義Ⅰ	3前		2						1		
		文芸文化論講 義Ⅱ	3後		2						1		
		中国古典文化 論講義Ⅰ	3前		2			1					
		中国古典文化 論講義Ⅱ	3後		2			1					
			情報デザイン 論	2後		2							
		ジェンダー表 象論	2後		2			1		1			
		映像表現論	2後		2		1						
		アート表現論 Ⅰ	2後		2			1					
		アート表現論 Ⅱ	2後		2			1					
	情報社会論	3前		2			1						

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目													
	文 芸 文 化	名跡鑑賞	2後		2		1						兼任1
		表現ワーク ショップⅠ	2後		2								
		表現ワーク ショップⅡ	3前		2								兼任1
		声の文化論演 習Ⅰ	2後		2						1		
		声の文化論演 習Ⅱ	3前		2		1						
		表現文化概論	2後		2					1			
		中国古典文化 概論	2後		2			1					
		書写・書道Ⅰ	3前		1		1						
		書写・書道Ⅱ	3後		1		1						
		アジア書記史 Ⅰ	3後		2		1						
		アジア書記史 Ⅱ	4前		2		1						
		日本伝統文化 史講義Ⅰ	3前		2		1						
		日本伝統文化 史講義Ⅱ	3後		2		1						
		文芸文化論講 義Ⅰ	3前		2						1		
		文芸文化論講 義Ⅱ	3後		2						1		
		中国古典文化 論講義Ⅰ	3前		2			1					
		中国古典文化 論講義Ⅱ	3後		2			1					
				情報デザイン 論	2後		2						
		ジェンダー表 象論	2後		2			1		1			
		映像表現論	2後		2		1						
		アート表現論 Ⅰ	2後		2			1					
		アート表現論 Ⅱ	2後		2			1					
	情報社会論	3前		2			1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報 メディア文化	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				
	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1		1					
	Webデザイン演習Ⅱ	3前		1		1					
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
	ファッション文化史	4後		2							兼1
日本・東アジア社会文化	東アジア関係史	2後		2			1				
	国際関係論	2後		2			1				
	日中文化交流史	2後		2			1				
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2				1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	2後		2				1			
	中国社会文化論	3前		2			1				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2			1				
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
情報 メディア文化	メディア文化論	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前		2		1					
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後		2		1					
	マンガ表現論Ⅰ	3後		2			1				
	マンガ表現論Ⅱ	4前		2			1				
	Webデザイン演習Ⅰ	3前		1		1					
	Webデザイン演習Ⅱ	3前		1		1					
	文化社会学	3前		2			1				
	ソーシャルメディア論	4前		2			1				
	映像と音響	4後		2		1					
日本・東アジア社会文化	ファッション文化史	4後		2							兼任1
	東アジア関係史	2後		2			1				
	国際関係論	2後		2			1				
	日中文化交流史	2後		2			1				
	日本伝統文化論	2前		2		1					
	異文化理解	2後		2			1				
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後		2				1			
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	2後		2				1			
	中国社会文化論	3前		2			1				
	韓国社会文化論	3前		2		1					
	台湾社会文化論	3前		2			1				
	東南アジア社会文化論	3後		2			1				
	アジア経済論	4前		2			1				
	熊本の文化Ⅰ	3前		2		1					

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
		熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					兼1	
		熊本国際交流史	2後		2		1						
		多文化共生論	3後		2			1					
		国際社会と女性	4前		2			1					
		ものづくり論	4後		2								
	観光文化	観光総論	2後		2		1		1			兼1	
		観光産業論	2後		2				1				
		コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1				
		観光実務	3後		2		1		1				
		インバウンド・ツーリズム論	3後		2				1				
		旅行業法規	4前		2				1				
		フード・ツーリズム論	4前		2								
	演習・卒論	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			9	8	2	1			
		表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			9	8	2	1			
		卒業論文・卒業研究	4通	6			9	8	2	1			
	司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2	1					兼1	
		図書館制度・経営論	1後			2	1						
		図書館サービス概論	2前			2	1					兼1	
		情報サービス演習（A）	2前			1							
		情報サービス演習（B）	2後			1						兼1	
		図書館情報資源概論	3前			2						兼1	
		情報資源組織論	3前			2	1						
		情報資源組織演習（A）	3後			1	1						

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
		熊本の文化Ⅱ	3後		2		1					兼任1	
		熊本国際交流史	2後		2			1	1				
		多文化共生論	3後		2			1					
		国際社会と女性	4前		2			1					
		ものづくり論	4後		2								
	観光文化	観光総論	2後		2		1		1			兼任1	
		観光産業論	2後		2				1				
		コンテンツ・ツーリズム論	3前		2				1				
		観光実務	3後		2		1		1				
		インバウンド・ツーリズム論	3後		2				1				
		旅行業法規	4前		2				1				
		フード・ツーリズム論	4前		2								
	演習・卒論	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2			8	9	2	3			
		表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2			8	9	2	3			
		卒業論文・卒業研究	4通	6			8	9	2	3			
	司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2						兼任1	
		図書館制度・経営論	1後			2	1						
		図書館サービス概論	2前			2						兼任1	
		情報サービス演習（A）	2前			1	1						
		情報サービス演習（B）	2後			1						兼任1	
		図書館情報資源概論	3前			2						兼任1	
		情報資源組織論	3前			2	1						
		情報資源組織演習（A）	3後			1	1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	情報資源組織 演習（B）	3後			1	1					
	図書館情報資 源特論	4前			1	1					
	図書館基礎特 論	4前			1						兼1
	図書・図書館 史	4後			1						兼1
	図書館実習	4通			1	1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	情報資源組織 演習（B）	3後			1	1					
	図書館情報資 源特論	4前			1	1					
	図書館基礎特 論	4前			1	1					
	図書・図書館 史	4後			1						兼任1
	図書館実習	4通			1	1					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 - その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 - (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

- ・ 授業規模の適正化の理由により、「スタディスキル」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・ 産休による担当教員の休職により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・ 産休による担当教員の休職により、「日本語表現Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・リーディング」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1」から「教授1、准教授3、講師2、助教1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「読書と豊かな人間性」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「女性と社会」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「日本文学史Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・ 届出時の誤謬により、「東アジア近現代史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「生涯学習概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 教育効果向上の理由により、「図書館概論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「生涯発達心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により、「児童サービス論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・ 産休による担当教員の休職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト入門」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・ 教育効果向上の理由により、「情報サービス論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「質的調査法」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により「初級中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により「初級中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・ 産休による担当教員の休職により、「キャリア形成入門」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の退職により、「プレゼンテーション演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・ 担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・ 担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・ 担当教員の就任辞退の理由により、「社会調査法実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・ 時間割編成の都合により「声の文化論演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・ 授業規模の適正化の理由により、「熊本国際交流史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・ 担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・ 担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。

- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授 9、准教授 8、講師 2、助教 1」から「教授 8、准教授 9、講師 1、助教 3」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館情報技術論」の専任教員等の配置を「教授 1」から「兼任 1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館サービス概論」の専任教員等の配置を「教授 1」から「兼任 1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報サービス演習(A)」の専任教員等の配置を「兼任 1」から「教授 1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「図書館基礎特論」の専任教員等の配置を「兼任 1」から「教授 1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成 28 年度開設であれば平成 27 年度、平成 29 年度開設であれば平成 27 年度及び平成 28 年度、平成 30 年度開設であれば平成 27 年度から平成 29 年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	149 科目	13 科目	188 科目	26 科目 []	149 科目 []	13 科目 []	188 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△ 1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2	該当無し					
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2	該当無し					
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当無し

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考		
(1)校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	38,943.20㎡	5,700㎡	48,783㎡	93,426.20㎡				
	運動場用地	㎡	3,249.89㎡	㎡	3,249.89㎡				
	小 計	38,943.20㎡	8,949.89㎡	48,783㎡	96,676.09㎡				
	そ の 他	㎡	492.14㎡	㎡	492.14㎡				
	合 計	38,943.20㎡	9,442.03㎡	48,783㎡	97,168.23㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
		11,677.42㎡ (11,677.42㎡)	13,796.08㎡ (13,796.08㎡)	11,159.64㎡ (11,159.64㎡)	36,633.14㎡ (36,633.14㎡)				
(3)教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
		12室	2室	1室 (補助職員 人)	2室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)			
(4)専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		現代文化学部文化コミュニケーション学科			23 室				
(5)図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	「学部単位での特 定が不能なため、 武蔵ヶ丘キャン パス（2学科分）の 数」（30） 資料を受入したため (30)	
	現代文化学部	125,554 [12,013] 111,781 [-11,931]	1,793 [50] 1,784 [-54]	2 [0]	2,914 2,909	3	0		
		112,554 [11,713] 98,781 [-11,631]	1,783 [48] [-1,774 [-52]]	(0 [0])	2,614 [-2,609]	(0)	(0)		
	計	125,554 [12,013] 111,781 [-11,931]	1,793 [50] 1,784 [-54]	2 [0]	2,914 2,909	3	0		
(6)図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		書庫を改修したため (30)	
		977㎡ 898㎡		100		120,000			
(7)体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		2,472㎡		—					
(8)経費の見 積り及び 維持方法 の 概 要	経費の 見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・「学部単位での特 定が不能なため、現 代文化学部、文化言 語学部の2学部全体 の数」
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	100千円	100千円	図書購入費	3,650千円 200千円	3,200千円 320千円	3,200千円 220千円	
		共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	・届出時は、個人一 人当たりの購入費と して誤記入したため	
		1,060千円	840千円	840千円	840千円	— 千円	— 千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、手数料収入、雑収入 等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大 学 の 名 称	尚綱大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
《AC対象学部等》 現代文化学部 文化コミュニケーション 学科	4	75	-	300	学士 (文学)	0.53	平成30年度	熊本県菊池郡菊陽町 武蔵ヶ丘北2-8-1	
生活科学部 栄養科学科	4	70	3年次 10	300	学士 (栄養学)	1.12	平成18年度	熊本県熊本市中央区 九品寺2丁目6-78	
文化言語学部 文化言語学科	4	-	-	-	学士 (文学)	-	昭和50年度	熊本県菊池郡菊陽町 武蔵ヶ丘北2-8-1	平成30年学生 募集停止
(注意)課程認定等により専攻・コースに入学定員を定めている場合は、専攻・コース別にも記入してください。(履修上の区分として専攻・コースを設けている場合は記入は不要です。)									
(注意)学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。									
大 学 の 名 称	尚綱大学短期大学部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
総合生活学科	2	80	-	160	短期大学士 (生活学)	0.81	昭和27年度	熊本県熊本市中央区 九品寺2丁目6-78	平成29年度より 定員を100人 →80人
食物栄養学科	2	80	-	160	短期大学士 (食物栄養学)	0.81	昭和42年度	熊本県熊本市中央区 九品寺2丁目6-78	
幼児教育学科	2	150	-	300	短期大学士 (幼児教育学)	0.90	昭和43年度	熊本県菊池郡菊陽町 武蔵ヶ丘北2-8-1	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

- ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
- ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
- ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「－」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜現代文化学部文化コミュニケーション学科＞

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	林田 俊一郎 (61) ＜平成30年4月＞ 基礎セミナー ※ クリティカル・リー ディング 課題探求プロジェ クト演習Ⅰ 課題探求プロジェ クト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書記史Ⅰ アジア書記史Ⅱ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
		武田 昌憲 (62) ＜平成30年4月＞ 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 日本文学史Ⅱ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅰ 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義 Ⅰ 日本伝統文化史講義 Ⅱ 日本伝統文化論 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	中川 明夫 (58) ＜平成30年4月＞ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケー ションⅠ 海外語学研修（韓国 語） アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 熊本国際交流史 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
		小沢 日美子 (57) ＜平成30年4月＞ クリティカル・リー ディング 女性と社会 生涯発達心理学 教育心理学 質的調査法 プレゼンテーション 概論 プレゼンテーション 演習 課題探求プロジェ クト演習Ⅰ 課題探求プロジェ クト演習Ⅱ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名
専	教授	林田 俊一郎 (61) ＜平成30年4月＞ 基礎セミナー ※ 課題探求プロジェ クト演習Ⅰ 課題探求プロジェ クト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書記史Ⅰ アジア書記史Ⅱ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
		武田 昌憲 (63) ＜平成30年4月＞ 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義 Ⅰ 日本伝統文化史講義 Ⅱ 日本伝統文化論 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	中川 明夫 (58) ＜平成30年4月＞ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケー ションⅠ 海外語学研修（韓国 語） アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 熊本国際交流史 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

【平成31年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名

【平成32年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名

【平成33年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	所 吉彦 (56) <平成30年4月>	専	教授	所 吉彦 (56) <平成30年4月>									
		クリティカル・シンキング 経済と社会Ⅰ 社会コミュニケーション ション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション ション実践論 地域マネジメント研 修Ⅰ 地域マネジメント研 修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション ション演習Ⅰ 表現コミュニケーション ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			クリティカル・シンキング 経済と社会Ⅰ 社会コミュニケーション ション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション ション実践論 地域マネジメント研 修Ⅰ 地域マネジメント研 修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション ション演習Ⅰ 表現コミュニケーション ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究									
専	教授	桑原 芳哉 (56) <平成30年4月>	専	教授	桑原 芳哉 (56) <平成30年4月>									
		読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 表現コミュニケーション ション演習Ⅰ 表現コミュニケーション ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 図書館情報技術論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論 情報資源組織論 情報資源組織演習 (A) 情報資源組織演習 (B) 図書館情報資源特論 図書館実習			図書館概論 情報サービス論 表現コミュニケーション ション演習Ⅰ 表現コミュニケーション ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 図書館制度・経営論 情報サービス演習 (A) 情報資源組織論 情報資源組織演習 (A) 情報資源組織演習 (B) 図書館情報資源特論 図書館基礎特論 図書館実習									
専	教授	釜賀 誠一 (55) <平成30年4月>	専	教授	釜賀 誠一 (55) <平成30年4月>									
		基礎セミナー ※ クリティカル・リー ディング 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 課題探求プロジェク ト演習Ⅰ 課題探求プロジェク ト演習Ⅱ Webデザイン演習Ⅰ Webデザイン演習Ⅱ 表現コミュニケーション ション演習Ⅰ 表現コミュニケーション ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			基礎セミナー ※ クリティカル・リー ディング 情報処理Ⅰ 情報処理Ⅱ 課題探求プロジェク ト演習Ⅰ 課題探求プロジェク ト演習Ⅱ Webデザイン演習Ⅰ Webデザイン演習Ⅱ 表現コミュニケーション ション演習Ⅰ 表現コミュニケーション ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究									
専	教授	竹下 裕俊 (52) <平成30年4月>	専	教授	竹下 裕俊 (52) <平成30年4月>									
		基礎セミナー ※ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ インターンシップ ビジネス英語Ⅰ TOEIC Preparation Ⅰ TOEIC Preparation Ⅱ 表現コミュニケーション ション演習Ⅰ 表現コミュニケーション ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			基礎セミナー ※ Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ インターンシップ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ TOEIC PreparationⅠ TOEIC PreparationⅡ 表現コミュニケーション ション演習Ⅰ 表現コミュニケーション ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究									

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名	専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞ 担当授業科目名
専	教授	畠山 真一 (47) ＜平成30年4月＞ 基礎セミナー ※ 国際日本学 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文 化論入門 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーショ ン史Ⅰ 映画とアニメーショ ン史Ⅱ 映像と音響 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	畠山 真一 (47) ＜平成30年4月＞ 基礎セミナー ※ 国際日本学 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文 化論入門 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーショ ン史Ⅰ 映画とアニメーショ ン史Ⅱ 映像と音響 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	岡田 則浩 (55) ＜平成30年4月＞ クリティカル・リー ディング 基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 基礎統計Ⅰ 基礎統計Ⅱ 課題探求プロジェク ト演習Ⅰ 課題探求プロジェク ト演習Ⅱ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	准教授	岡田 則浩 (55) ＜平成30年4月＞ クリティカル・リー ディング 基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ 基礎統計Ⅰ 基礎統計Ⅱ 課題探求プロジェク ト演習Ⅰ 課題探求プロジェク ト演習Ⅱ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	宇野（遠山）文重 (45) ＜平成30年4月＞ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 人権論 ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	准教授	宇野（遠山）文重 (45) ＜平成30年4月＞ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 女性と社会 人権論 ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究						
専	准教授	北口 英穂 (44) ＜平成30年4月＞ 基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ 海外語学研修（中国 語） 検定中国語Ⅰ 検定中国語Ⅱ 検定中国語Ⅲ 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	准教授	北口 英穂 (44) ＜平成30年4月＞ 基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語Ⅰ 初級中国語Ⅱ 初級中国語Ⅲ 初級中国語Ⅳ 海外語学研修（中国 語） 検定中国語Ⅰ 検定中国語Ⅱ 検定中国語Ⅲ 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	Josh Norman (42) ＜平成30年4月＞	専	准教授	Josh Norman (42) ＜平成30年4月＞									
		クリティカル・リーディング Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II ビジネス英語 I ビジネス英語 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究			Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II ビジネス英語 I ビジネス英語 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究									
専	准教授	山川 仁子 (42) ＜平成30年4月＞	専	准教授	山川 仁子 (42) ＜平成30年4月＞									
		応用統計 日本語学概論 音声言語 心理言語学 日本語教育文法 日本語教授法 日本語教育実習 異文化理解 多文化共生論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究			応用統計 日本語学概論 音声言語 心理言語学 日本語教育文法 日本語教授法 日本語教育実習 異文化理解 多文化共生論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究									
専	准教授	福永（畠山）美佳 (40) ＜平成30年4月＞	専	准教授	福永（畠山）美佳 (40) ＜平成30年4月＞									
		初級中国語 I 初級中国語 II 初級中国語 III 初級中国語 IV ビジネス中国語 I 中国古典文化概論 中国古典文化論講義 I 中国古典文化論講義 II 日中文化交流史 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究			初級中国語 I 初級中国語 III ビジネス中国語 I 中国古典文化概論 中国古典文化論講義 I 中国古典文化論講義 II 日中文化交流史 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究									
専	准教授	黄 蘊 (43) ＜平成30年4月＞	専	准教授	黄 蘊 (43) ＜平成30年4月＞									
		社会調査法 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II アジア事情 ※ 社会調査法実習 I ビジネス中国語 I ビジネス中国語 II 国際関係論 中国社会文化論 東南アジア社会文化論 アジア経済論 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究			社会調査法 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II アジア事情 ※ 社会調査法実習 I ビジネス中国語 I ビジネス中国語 II 国際関係論 中国社会文化論 東南アジア社会文化論 アジア経済論 熊本国際交流史 ※ 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究									

専任・兼任・兼任の別			氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞		
職名			担当授業科目名		
専	准教授	秦 美香子 (39) ＜平成30年4月＞			
		メディアリテラシー メディア表現論 社会学概論 社会調査法実習Ⅱ アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会学 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア 論 表現コミュニケーション 演習Ⅰ 表現コミュニケーション 演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			
専	講師	柚木 繁之 (49) ＜平成30年4月＞			
		スタディスキル クリティカル・リー ディング Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ 課題探求プロジェ クト演習Ⅰ 課題探求プロジェ クト演習Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			

専任・兼任・兼任の別			氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞		
職名			担当授業科目名		
専	准教授	三浦 知志 (41) ＜平成30年4月＞			
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ クリティカル・リー ディング メディアリテラシー 課題探求プロジェ クト入門 メディア表現論 社会学概論 プレゼンテーション 概論 プレゼンテーション 演習 アート表現論Ⅰ アート表現論Ⅱ 情報社会学 マンガ表現論Ⅰ マンガ表現論Ⅱ 文化社会学 ソーシャルメディア 論 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			
専	講師	柚木 繁之 (49) ＜平成30年4月＞			
		スタディスキル クリティカル・リー ディング Communicative GrammarⅠ Communicative GrammarⅡ Communicative GrammarⅢ Communication WorkshopⅠ Communication WorkshopⅡ Communication WorkshopⅢ 課題探求プロジェ クト演習Ⅰ 課題探求プロジェ クト演習Ⅱ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ 表現コミュニケー ション演習Ⅰ 表現コミュニケー ション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究			

専任・兼任・兼任の別			氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞		
職名			担当授業科目名		
専	准教授				
専	講師				

専任・兼任・兼任の別			氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞		
職名			担当授業科目名		
専	准教授				
専	講師				

専任・兼任・兼任の別			氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞		
職名			担当授業科目名		
専	准教授				
専	講師				

専任・兼任・兼任の別			氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞		専任・兼任・兼任の別		氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞		専任・兼任・兼任の別		氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞		専任・兼任・兼任の別		氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞				
職名			＜就任（予定）年月＞		職名			＜就任（予定）年月＞		職名			＜就任（予定）年月＞		職名			＜就任（予定）年月＞	
			担当授業科目名					担当授業科目名					担当授業科目名					担当授業科目名	
専	講師		金 承珠 (38) ＜平成30年4月＞	専	講師		金 承珠 (38) ＜平成30年4月＞												
		基礎セミナー ※ 観光文化学入門 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 観光総論 ※ 観光産業論 コンテンツ・ツーリズム論 観光実務 ※ インバウンド・ツーリズム論 旅行業法規 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習	基礎セミナー ※ 観光文化学入門 観光文化論 地域コミュニティ創造論演習Ⅰ 地域コミュニティ創造論演習Ⅱ 熊本国際交流史 ※ 観光総論 ※ 観光産業論 コンテンツ・ツーリズム論 観光実務 ※ インバウンド・ツーリズム論 旅行業法規 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業演習																
専	助教		川上（多田）知里 (32) ＜平成30年4月＞	専	助教		川上（多田）知里 (32) ＜平成30年4月＞												
		日本語表現Ⅰ 日本語表現Ⅱ 課題探求プロジェクト入門 キャリア形成入門 キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ 表現文化概論 文芸文化論講義Ⅰ 文芸文化論講義Ⅱ ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ 課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究																
				専	助教		水谷 智彦 (31) ＜平成30年4月＞												
						スタディスキル クリティカル・リーディング 課題探求プロジェクト入門 質的調査法 課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ 社会調査法実習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究													
				専	助教		山本 歩 (30) ＜平成30年4月＞												
						クリティカル・リーディング 日本文学史Ⅱ 表現文化概論 声の文化論演習Ⅰ 文芸文化論講義Ⅰ 文芸文化論講義Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究													
兼任	准教授		柿原 一貴 (57) ＜平成30年4月＞	兼任	准教授		柿原 一貴 (57) ＜平成30年4月＞												
		体育Ⅰ 体育Ⅱ	体育Ⅰ 体育Ⅱ																

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	慶田 収 (67) ＜平成 31 年4 月＞	兼任	講師	慶田 収 (67) ＜平成 31 年4 月＞									
		経済と社会Ⅱ 経済と社会Ⅲ			経済と社会Ⅱ 経済と社会Ⅲ									
兼任	講師	吉川 勝広 (53) ＜平成33年4月＞	兼任	講師	吉川 勝広 (53) ＜平成33年4月＞									
		ものづくり論			ものづくり論									
兼任	講師	今村 直樹 (40) ＜平成31年4月＞	兼任	講師	今村 直樹 (40) ＜平成31年4月＞									
		日本近現代史			日本近現代史									
兼任	講師	柳 景沃 (55) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	柳 景沃 (55) ＜平成30年4月＞									
		初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習			初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 韓国語コミュニケーションⅡ 韓国語通訳・翻訳演習									
兼任	講師	辛 教燦 (35) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	辛 教燦 (35) ＜平成31年4月＞									
		韓国語コミュニケーションⅡ ビジネス韓国語Ⅰ ビジネス韓国語Ⅱ			韓国語コミュニケーションⅡ ビジネス韓国語Ⅰ ビジネス韓国語Ⅱ									
兼任	講師	宮園 博光 (52) ＜平成30年4月＞	兼任	講師	宮園 博光 (52) ＜平成31年4月＞									
		アドミニストレーション入門			アドミニストレーション入門									
			兼任	講師	広瀬 美貴子 (53) ＜平成30年4月＞									
					キャリア形成入門									
			兼任	講師	水谷 江美子 (53) ＜平成30年4月＞									
					図書館情報技術論									
			兼任	講師	津村 秀夫 (63) ＜平成31年4月＞									
					情報サービス演習 (B) 図書館情報資源概論									

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任、兼任教員を含む。）を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】	
・林田 俊一郎：授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・リーディング」の担当を変更	
・武田 昌憲：時間割編成の都合により、「日本文学史Ⅱ」及び「声の文化論演習Ⅰ」の担当を変更	
・中川 明夫：教育効果向上の理由により、「熊本国際交流史」の担当を変更	
・桑原 芳哉：教育効果向上の理由により、「図書館概論」、「情報サービス論」、「情報サービス演習(A)」及び「図書館基礎特論」の担当を追加、時間割編成の都合により、「読書と豊かな人間性」、「生涯学習概論」、「児童サービス論」、「図書館情報技術論」及び「図書館サービス概論」の担当を変更	
・宇野(遠山) 文重：担当教員の退職により、「女性と社会」の担当を追加	
・Josh Norman：授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・リーディング」の担当を変更	
・福永(畠山) 美佳：時間割編成の都合により「初級中国語Ⅱ」及び「初級中国語Ⅳ」の担当を変更	
・黄 蘊：授業規模の適正化の理由により、「熊本国際交流史」の担当を追加	
・三浦 知志：平成30年4月採用 担当科目：「日本語表現Ⅰ」、「日本語表現Ⅱ」、「クリティカル・リーディング」、「メディアリテラシー」、「課題探求プロジェクト入門」、「メディア表現論」、「社会学概論」、「プレゼンテーション概論」、「プレゼンテーション演習」、「アート表現論Ⅰ」、「アート表現論Ⅱ」、「情報社会論」、「マンガ表現論Ⅰ」、「マンガ表現論Ⅱ」、「文化社会学」、「ソーシャルメディア論」、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」、「卒業論文・卒業研究」	
・金 承珠：授業規模の適正化の理由により、「熊本国際交流史」の担当を追加	
・川上(多田) 知里：産休による休職のため、「日本語表現Ⅰ」、「日本語表現Ⅱ」、「課題探求プロジェクト入門」、「キャリア形成入門」、「表現文化概論」、「文芸文化論講義Ⅰ」及び「文芸文化論講義Ⅱ」の担当を変更	
・水谷 智彦：平成29年10月採用 担当科目：「スタディスキル」、「クリティカル・リーディング」、「課題探求プロジェクト入門」、「質的調査法」、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」、「社会調査法実習Ⅱ」、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」、「卒業論文・卒業研究」	
・山本 歩：平成29年9月採用 担当科目：「クリティカル・リーディング」、「日本文学史Ⅱ」、「表現文化概論」、「声の文化論演習Ⅰ」、「文芸文化論講義Ⅰ」、「文芸文化論講義Ⅱ」、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」、「卒業論文・卒業研究」	
・田中 將之：担当教員の退職により、「生涯発達心理学」及び「教育心理学」の担当を追加	
・本田 暁美：時間割編成の都合により「初級中国語Ⅱ」及び「初級中国語Ⅳ」の担当を追加	
・桑原 由吏子：時間割編成の都合により、「読書と豊かな人間性」、「生涯学習概論」、「児童サービス論」及び「図書館サービス概論」の担当を追加、教育効果向上の理由により、「図書館概論」、「情報サービス論」、「情報サービス演習(A)」、「情報サービス演習(B)」、「図書館情報資源概論」及び「図書館基礎特論」の担当を変更	
・広瀬 美貴子：産休による担当教員の休職により、「キャリア形成入門」の担当を追加	
・水谷 江美子：時間割編成の都合により、「図書館情報技術論」の担当を追加	
・津村 秀夫：時間割編成の都合により、「情報サービス演習(B)」及び「図書館情報資源概論」の担当を追加	

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	
	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8名	4名

- (注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
9	8	2	1	20	8	8	2	3	21	8	8	2	3	21
(8)	(8)	(2)	(3)	(21)						[△1]	[]	[]	[+2]	[+1]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 - ・ **「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。**（記入例：1名減の場合：△1）

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65歳	0名	0名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）。および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている

教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) 一④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{20} = \boxed{105} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) 一⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由							
1	准教授	秦 美香子	選択	メディアリテラシー	①	一身上の都合のため就任辞退（28）							
			選択	メディア表現論	①								
			選択	社会学概論	①								
			選択	社会調査法実習Ⅱ	①								
			選択	アート表現論Ⅰ	①								
			選択	アート表現論Ⅱ	①								
			選択	情報社会論	①								
			選択	マンガ表現論Ⅰ	①								
			選択	マンガ表現論Ⅱ	①								
			選択	文化社会学	①								
			選択	ソーシャルメディア論	①								
			必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①								
			必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①								
			必修	卒業論文・卒業研究	①								
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	3	科目	必修	3	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	11	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	小沢 日美子	必修	クリティカル・リーディング	①	H30.3.31付け 他大学へ就任したため辞任（30）							
			必修	女性と社会	①								
			選択	生涯発達心理学	②								
			選択	教育心理学	②								
			選択	質的調査法	①								
			選択	プレゼンテーション概論	①								
			選択	プレゼンテーション演習	①								
			必修	課題探究プロジェクト演習Ⅰ	①								
			選択	課題探究プロジェクト演習Ⅱ	①								
			必修	表現コミュニケーション演習Ⅰ	①								
			必修	表現コミュニケーション演習Ⅱ	①								
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	4	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	9	科目	計	2	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
2	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	17 科目	選択	15 科目	選択	2 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	25 科目	計	23 科目	計	2 科目	計	0 科目		

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)－③合計(D)+(F)}{(2)－②設置時の計画(A)} = \frac{2}{20} = 10\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当無し								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

就任辞退の教員の担当授業科目については、後任の採用により対応する。また、辞任した教員の担当授業科目については、他の専任教員及び兼担教員で対応する。
学生への周知については、時間割及びシラバスにより担当教員名を周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時	・ 尚綱大学短期大学部 総合生活学科の定員充 足率の平均が0.7倍 未満となっていること から、学生確保に努め るとともに、入学定員 の見直しについて検 討すること。	学生確保に向けて、教育内 内容及び学生支援等の充実強 化を図り、地元企業への確 実な就職と退学者防止の効 果を保護者や高校の先生方 に周知するように努めた。 具体的には、金融系就職支 援講座、公務員対策講座に 力を入れ、地元金融機関や 公務員への就職を増やし た。また、退学防止対策班 を組織し、きめ細やかな学 生対応と保護者会の実施な ど家庭との連絡を密にして 退学者ゼロを達成した。こ れらの内容を年4回実施する 高校訪問で学科独自のチラ シ等を作成しアピールし た。学生の出身高校には、 高校訪問時に学生生活の様 子を「総合生活学科ニュー スレター」として定期的に 卒業まで報告している。保 護者対応では、オープン キャンパス時に、説明と共 に個別面談を実施してい る。高校生向けにはオープ ンキャンパスで在学生との 交流で学生生活への不安解 消に努め、2年間の学びと将 来像をイメージできるよう に工夫している。平成29年 度は入学定員超過率は 0.72、平成30年度は0.91に 回復した。 なお、平均入学定員超過率 は、0.81となる。 (総合生活学科) 平成29年度入学者数：58 名、平成30年度入学者数： 73名 入学定員：80名	履行済

(注)・「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。
その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<現代文化学部文化コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	該当無し

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、SD（スタッフ・ディベロプメント）及びFD（ファカルティ・ディベロプメント）を積極的に推進するため、全学的機関として「SD・FD委員会」を設置し、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営並びに授業内容及び方法の改善を行っている。

また、SD・FD委員会の下部組織として「SD推進部会」「FD推進部会」をそれぞれ設置し、年間計画に基づく具体的な活動を推進している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年度は、SD・FD委員会を2回、SD推進部会を1回、FD推進部会を6回開催した。各会議は、構成員である教員も出席して開催しており、各会の構成員は以下のとおりである。

【SD・FD委員会】

学長、学長補佐、学部長、学科長、学園事務局長、大学事務局長、学園事務局総務部長、事務部長、大学企画室長、大学企画室課長

【SD推進部会】

学部長、学科長、大学事務局長、学園事務局総務部長、事務部長、大学企画室長、大学企画室課長

【FD推進部会】

学部長、学科長、学科選出教員各1名、教務課長、大学企画室長、大学企画室課長

c 委員会の審議事項等

【SD・FD委員会】

- 1) SD・FDの基本方針策定
- 2) SD・FDの単年度事業計画及び中長期計画の策定
- 3) その他教職員の能力開発に関し必要なこと

【SD推進部会】

- 1) SDの実施計画策定
- 2) 大学運営に必要な知識及び技能を身に付け、能力及び資質を向上させるための諸施策の企画及び実施
- 3) その他SD推進に必要なこと

【FD推進部会】

- 1) FDの実施計画策定
- 2) 授業内容及び方法の改善を図るための諸施策の企画及び実施
- 3) その他FD推進に必要なこと

② 実施状況

a 実施内容

- 1) SD研修会
- 2) FD研修会
- 3) 教員相互の授業参観（オープンクラス・ウィーク）
- 4) 授業改善アンケート
- 5) 新任教員のための研修会

b 実施方法

- 1) SD推進部会で年間計画を策定し、学内での開催及び学外で開催される研修会へ参加している。
- 2) FD推進部会で研修内容を検討の上、年2回開催している。
- 3) 年に1回、3週間の期間を設けて原則全授業を公開し、教員が相互に参観してレポートを提出している。
- 4) 前・後期に各1回、原則、開講された全科目を対象として実施している。
- 5) SD及びFD活動に関する内容も含めた研修会を4月に実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

＜平成29年度実績＞

- 1) 学内研修会を13回開催（うち、新入事務職員のみを対象とした研修会が5回）、学外研修会には17回参加。
なお、平成29年度の教員参加は学内研修会のみであり、全ての回において在籍する職員の半数以上が参加。
- 2) 9月に「アクティブ・ラーニングの取り入れ方」についてグループワーク形式の研修会を開催し、教員24名が参加。また、12月に外部講師を招聘し「効果的な授業アンケートの活用方法」及び「学習評価の基本」について研修会を開催し、教員43名が参加。
- 3) 10月末から11月上旬に実施し、教員73名中59名が参観。
- 4) 前・後期に各1回実施。また、後期の中間に任意で1回実施。
- 5) SD及びFDに関する研修は、平成30年度から実施しており、新任教員は全員参加。

※「教員の参加状況」は、教授から教員助手までの実績を示す

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度から「授業改善アンケート」を各期中間の授業回に実施し、当該授業へのフィードバックを行う。オープンクラス・ウィークについては、事務職員による任意参観も実施し、教員以外からの視点の取り入れを図る。また、アクティブ・ラーニングに関する研修会を継続し、授業への取り入れを促進する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成29年度までは、前・後期の各最終授業回に実施していたが、平成30年度からは各期6～9回目の授業で実施予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目の担当教員による「分析・評価」及び「今後の取り組み」が記載された科目別集計票を、学内専用サイトで期間を限定し公開している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

昨年度は『尚絅大学現代文化学部設置届出書』に記載された設置計画に基づき、適正な変更を加えながら実施してきた。設置の趣旨・目的の周知のために「現代文化学部設置準備委員会」を学内に組織し、学生募集活動および広報活動を行い学生確保に取り組んだ。設置計画段階の高校生対象のニーズ調査においては関心も高く、入学定員を超える入学希望者が見込まれたにもかかわらず、周知浸透が必ずしも十分でなく、残念ながら定員未充足となった。今後は新たに組織された「現代文化学部WG」を中心に、昨年度の反省を踏まえ更なる周知活動に取り組み学生確保に努めたい。本年度の入学者に対しては、『現代文化学部履修ガイド2018』を作成し、オリエンテーションでの説明や履修相談等で、カリキュラムに沿った履修がスムーズに行くように指導している。今後も、設置の趣旨・目的に沿った人材育成と共に入学者が満足できるような新学部の活動の充実に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成30年4月2日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受診し、平成30年3月に「大学評価基準に適合していると認定する」との評価結果を受けている。評価結果は、日本高等教育評価機構及び本学のホームページにて公表済み。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（4）情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 （ ☒ 有 ☐ 無 ）

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 （ 平成30年 6月 1日 ）

（注）・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。